

平成 23 年度 技術講習会

南海地震に伴う地盤災害の予測研究の最前線
～3.11 から学ばなければならないこと～

主催：一般社団法人 日本応用地質学会関西支部

後援：公益社団法人 地盤工学会関西支部

2011年3月11日発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)は未曾有の被害に見舞われました。長く続く地震動, 長周期の揺れ, 津波, 地盤災害など, 数多くの事象が, これまでの研究と経験だけでは認識不足であった部分があります。今, 我々がやるべきことは, 3.11に起こったことをしっかり把握し, 学び, 次に起こる海溝型地震発生時の地盤災害などを正確に予測することが必要です。

そこで、本年の技術講習会では、その第1弾として、「南海地震に伴う地盤災害の予測研究の最前線 ～3.11から学ばなければならないこと～」と題して、液状化問題を中心に専門家からその現象と実態について貴重なお話をいただき、西日本、特に関西の平野部における現状から見えてくる今後の対策のあり方や取り組みについて意見交換を行ないたいとおもいます。多数ご参加をお待ちしております。

記

場所：大阪市立総合生涯学習センター 大阪駅前第2ビル5F 第一研修室

日時：平成24年1月25日 13時15分～16時45分

参加費：1000円(資料代含む)

申込：当日会場まで 先着順、定員100名

プログラム

はじめに 趣旨説明

- ・ 3.11に関東地域で何が起こったのか？
地盤災害 —特に液状化災害について— 東京電機大学 安田 進 氏
- ・ 関西の地盤は大丈夫か？
関西の地盤状況と液状化に対する検討 大阪市立大学 大島 昭彦 氏
- ・ 総合討論(ディスカッション)
関西の地盤災害をどう考えるか？
コメンテーター： 大阪市立大学 三田村 宗樹 氏
京都大学防災研究所 三村 衛 氏

以 上、ふるってご参加ください。